

変更の事由及び時期を記載した書類

事項		記入欄						備考
フリガナ	設置者	コウリツダイガクホウジントヤマケンリツダイガク 公立大学法人富山県立大学						
フリガナ	大学の名称	トヤマケンリツダイガク 富山県立大学						
大学本部の位置		富山県射水市黒河5180番地						
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	工学部	年	人	年次人	人		年月 第 年次	
	電気電子工学科	4	45 (-)	- (-)	180 (-)	学士(工学)	令和2年4月 第1年次	富山県射水市 黒河5180番地
	情報システム工学科	4	45 (-)	- (-)	180 (-)	学士(工学)	令和2年4月 第1年次	
計		90 (-)		360 (-)				
変更の事由		<p>○ 変更の事由</p> <p>富山県立大学工学部電子・情報工学科を廃止し、新たに電気電子工学科及び情報システム工学科の2学科を設置することに伴い、学則を一部変更する。</p> <p>(1) 学科新設の趣旨及び必要性</p> <p>富山県立大学は、平成27年4月の独立行政法人化を契機として、地域振興や若者の県内定着など、県民や産業界からの期待に応えるよう、入学定員の増員や教育研究分野の拡充等に取り組み、地方創生の一翼を担う魅力ある大学づくりを推進することとしている。</p> <p>また、法人化にあたって定められた中期目標（平成27～令和2年度）において、①教育面では、優秀な学生を確保し、地域で活躍できる有為な人材が県内に定着するよう入学から就職までの対策をしっかりと行うこと、②研究面では、「地域の知の拠点」として、産学官金連携の強化を図り、県内産業の発展に貢献する研究を推進すること、③地域課題解決や地域への人材供給を通じた地域貢献や国際化に対応した人材の育成等を推進すること、④併せて、5学科全ての拡充や魅力あるキャンパスの整備を図ることなどが重点事項として位置付けられた。</p> <p>電子・情報工学科は、平成29年4月に電気・電子系を強化し、入学定員を50名から80名に増員するとともに、学科名称を情報システム工学科から教育研究内容を学名で分かりやすく示すため変更したものである。</p> <p>近年の入学選抜では、電子・情報工学科の志願倍率が高く、平成31年度入学選抜（一般入試）の志願倍率は5倍を超えており、また、県内産業等からも人材育成ニーズが強いこと、さらに、教授等の教員を増員できたことから、入学定員を90名に拡充するとともに、少人数で充実した教育を行うため、電子・情報工学科を分割し、電気電子工学科と情報システム工学科の2学科を新設することとした。</p> <p>(2) 学則の変更内容</p> <p>① 工学部の学科新設</p> <p>ア 「電気電子工学科」を設置 入学定員 45名 収容定員 180名</p> <p>イ 「情報システム工学科」を設置 入学定員 45名 収容定員 180名</p> <p>② 工学部の学科廃止</p> <p>「電子・情報工学科」を廃止</p> <p>③ 教育課程の変更</p> <p>ア 工学部電気電子工学科 学科設置に伴い教育課程を追加</p> <p>イ 工学部情報システム工学科 学科設置に伴い教育課程を追加</p> <p>ウ 工学部電子・情報工学科 学科廃止に伴い教育課程を削除</p>						既設学科からの移行 工学部電子・情報学科（定員80名） 令和2年4月1日に学生募集を停止し、在学生在がなくなるのを待って廃止予定 在学生の教育課程については、従前の例による。
変更の時期		令和2年4月1日						